

# 川原茶業株式会社

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- 嬉野茶、ブレンド茶、卸業

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 嬉野茶の販路拡大、現地企業視察/訪問/商談

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。
- ②合弁や業務提携のパートナーを探したい。
- ③その他（ ）

## 4. 企業情報：

設立年月日	1990年 4月 5日
代表者名（ふりがな）	川原秀清
所在地	〒849-1411 佐賀県嬉野市塩田町馬場下甲 4251
ホームページ（URL）	<a href="http://www.nabeshimahan.jp/">http://www.nabeshimahan.jp/</a>
電話番号	+81-（0）954-66-2166
E-mail	kawahara@nabeshimahan.jp
資本金	1000万円
従業員数	6名
日本国内の拠点情報	・大型冷凍倉庫・第一製茶工場 ・第二製茶工場
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	



Kawahara Yasuhiro  
Senior Managing Director



玉緑茶（嬉野茶）

## 5. セールスポイント：

川原茶業は茶産地嬉野で大正3年から茶卸売業を営んでいます。産地問屋である弊社は嬉野市の茶畑から厳選された原料をもとに嬉野茶を自社で加工、茶葉の配合（ブレンド）を行っています。

弊社は、佐賀県で唯一、独自の製茶専用大型冷凍倉庫（-25度）を保有し、厳重な衛生管理のもと、春に摘み取られた新茶の品質がしっかりと保たれた状態で一年間を通してしっかりと保存されています。その為に茶葉の鮮度は一年通して変わらずにお客様へお届けすることができます。機械設備としてティーパック加工機やパウダー加工機などもあり、すべての商品を自社で製造しています。

産地問屋として地域の茶農家とも密接に繋がっており、すべての茶葉に対して『トレーサビリティ』が可能です。また、各茶農家へお客様の声を届けたり、要望を伝える事で一緒に嬉野茶の品質向上に努めています。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

中南米は佐賀県の輸出可能性調査としてブラジル（サンパウロ）に行った事がきっかけでした。また、翌年に行った際に、サンパウロ州レジストロの茶畑へ視察に行き現地の製茶状況を知ることが出来ました。今年2月にサンパウロにあるジャパンハウスにて講演をさせてもらいました。レジストロにある茶畑では主に紅茶に近いお茶を作られていますが、茶樹の育成は変わりがない為、茶畑の管理方法など色々ご提案させてもらっている状態です。弊社ではこの三年間で少量ですが、サンパウロを拠点に緑茶の輸出を行っています。

今後も現地の茶農家さんと情報を交換しつつ、現地の嗜好品にあった国産茶葉の輸出を地元茶農家さんと一緒に広めて行こうと思っています。

## 7. 使用言語：

日本語

# 株式会社アグリツリー



Japan International Cooperation Agency

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）導入に係る一切の業務ならびに維持管理

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 農業、農食品産業、エネルギー産業

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。
- ②合弁や業務提携のパートナーを探したい。
- ③その他（ ）

## 4. 企業情報：

設立年月日	2018年 7月 27日
代表者名（ふりがな）	西 光司（にし こうじ）
所在地	〒811-1213 福岡県那珂川市中原2丁目120番地 博多南駅前ビル3階
ホームページ（URL）	<a href="https://www.agritree.jp/">https://www.agritree.jp/</a>
電話番号	+81-92-953-2725
E-mail	nishi.koji@agritree.jp
資本金	14,900,050円
従業員数	1名
日本国内の拠点情報	なし
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	なし



西 光司 (Koji NISHI)  
代表取締役 (Managing Director)



農業と太陽光発電を両立するソーラーシェアリングは、無電化地域への電力供給や農業の電化による高付加価値化に貢献できます。

## 5. セールスポイント：

弊社は、ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）のシステムをシームレスに提供することに強みを持っています。ソーラーシェアリングとは、農地の上に3m程度の架台を設置して、細長い太陽光パネルをパネル1に対して、空間2の割合で配置することによって、農業に必要な光を植物に届けながら、発電も行う仕組みです。国内では、発電した電力を固定価格買取制度（FIT）を活用しての売電が主になりますので、電力会社・経済産業省・農業委員会への申請業務、設計・資材調達・工事・維持管理までを全て行います。

それを可能にしているのが、ソーラーシェアリングの発明者であるCHO研究所の長島彬氏や業界のトップランナーである市民エネルギーちば株式会社代表の東光弘氏と強固な関係です。3者で強風にも耐えることができ、かつ価格も安い新型アルミ架台の開発を行い、工事の効率を高めるためにパネルメーカーとフレームの開発を行っています。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

既に引き合いが来ているペルトリコのような中米の島嶼国、大陸でも無電化地域や乾燥地帯が多い場所でのソーラーシェアリングの設置は、効果的だと考えています。農地上に電源があることで、その地域に電力を供給することもできますし、環境制御や加工、保存などの農業用の電源として活用することで、農作物の高付加価値化も可能になります。農業というドメスティックな産業と密接に関わるために、最初は現地のパートナーと提携をして、事業ノウハウの提供や資材の導入などでのビジネス展開を考えています。

当地での事業ノウハウが溜まってきたら、自社で発電事業や農業の展開も行っていきたいと考えています。そのためにも現地で意欲のある人材に日本に研修に来ていただき、技術・ビジネス能力を高めてから、現地で活躍できるように教育もしていきます。

## 7. 使用言語：

日本語、英語

# メビオール株式会社



Japan International Cooperation Agency

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- 土の代わりにハイドロゲル膜を用い、安全・高栄養価作物を水のロス無く栽培できるフィルム農法（アイメック®）

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- アイメックが中南米日系社会に受容されるか、中南米導入において日系社会と連携の可能性はあるか。

## 3. 調査の目的

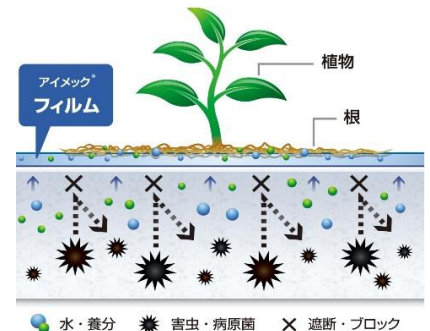
- ①製品を輸出入したい。
- ②合弁や業務提携のパートナーを探したい。

## 4. 企業情報：

設立年月日	1995年 9月 18日
代表者名（ふりがな）	吉岡 浩（よしおか ひろし）
所在地	〒254-0075 神奈川県平塚市中原 1-25-8
ホームページ（URL）	www.mebiol.co.jp
電話番号	+81-463-37-4301
E-mail	yoshioka@mebiol.co.jp
資本金	9,400万円
従業員数	9名
日本国内の拠点情報	本社・研究開発センター・試験農場 神奈川県平塚市
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	メビオール・ヨーロッパ（ロンドン）



Yoshioka Hiroshi  
CEO



● 水・養分 ● 害虫・病原菌 × 遮断・ブロック

（アイメックの説明図）



（砂漠のアイメック農場）

## 5. セールスポイント：

当社が開発した新しい農業技術（フィルム農法：アイメック®）は、ハイドロゲルから成る膜によって、養液と植物を隔離して栽培する技術である。アイメックでは、菌、ウイルスなどが遮断され、作物の安全性が担保されると同時に腐った養液でも使用でき、水、肥料のロスがゼロになった。更に、作物は浸透圧を高めることによって、フィルム中のハイドロゲル状態にある水分を効率よく吸収するために、糖分、GABA、リコピンなどを大量に合成し、結果的に高栄養化することが分かり、昨今の健康志向社会に受け入れられた。アイメックトマト生産は国内では10年ほど前から導入が始まり、これまでの導入数は約160件。海外では、中国の土壤汚染が危惧される地域、ドバイの砂漠地帯でアイメックトマトが生産され、地球温暖化に起因する土壤劣化、水不足による食料生産への大きな危惧がアイメックによって緩和されることが期待されている。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

フィルム農法（アイメック）の特許は、メキシコ（特許277985号）やブラジル（特許PI0716267-7号）など中南米諸国でも既に登録済である。メキシコでは日系農業資材企業の協力を得て展示会への出展も行い、アイメックに高い関心を得ている。当社の海外ビジネスモデルは、各国に代理店を置き栽培指導も代理店に任せる。代理店候補は、初回はアイメック栽培に必要なシステム一式を日本から輸入し栽培技術を習得する。その後代理店は基幹資材であるアイメックフィルムのみを日本から輸入し、アイメックシステムに必要な資材を現地調達して顧客に提供する一方、当社に特許ロイヤリティを支払う。ブラジルでは代理店候補第1号が本年中にアイメック栽培を開始する予定である。

## 7. 使用言語：

日本語

# 株式会社リバティソリューション

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- 介護・福祉機器の研究、開発、製造、販売  
主力製品、自動排泄処理装置（リバティひまわり）

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 中南米地区における介護事業の現状と政府支援・政策等の調査
- 製品輸出と機器製造業者との提携

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。
- ②合弁や業務提携のパートナーを探したい。
- ③その他（ ）

## 4. 企業情報：

設立年月日	平成25年4月30日
代表者名（ふりがな）	古田みゆき（ふるた みゆき）
所在地	〒690-0048 島根県松江市西嫁島一丁目2-7
ホームページ（URL）	<a href="http://www.liberty-so.com/">http://www.liberty-so.com/</a>
電話番号	+81-0852-61-3999
E-mail	<a href="mailto:carerobot@liberty-s.co.jp">carerobot@liberty-s.co.jp</a>
資本金	10,000,000 円
従業員数	8 名
日本国内の拠点情報	本社のみ
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	中国：哈尔滨向日葵智能护理设备有限公司 フランス：MMS-CAR 社



原田 貴弘  
(Takahiro Harada)  
広報部 マネージャー  
(public relations manager)



（自動排泄処理装置：リバティひまわり）

## 5. セールスポイント：

《主力商品：リバティひまわり（自動排泄処理装置）》

- 心と身体の負担の大きい排泄介護環境の改善と質の向上をめざし、開発から製品化までおよそ13年の歳月をかけて開発された世界基準の製品です。
  - 局部に装着したカップユニットに内蔵されたセンサーが排尿、排泄を検知し要介護者の排泄物を自動で吸引・洗浄・乾燥を行ないます。
  - おむつでの尿漏れ・便漏れの不快感を取り除き、長時間でも快適に生活して頂けることを特徴としています。
  - さらに、おむつを使う必要がなく、左右45度の体位変換ができることで、他の類似品器に比べ要介護者の排泄に伴う「不快」を抑えられています。
  - おむつ介護では陰部、臀部で生じ易い感染症に対し、この製品はおむつを使用しないため、雑菌等の発生を抑制できます。
- この事は介護現場の中で重要な課題の一つであり、「リバティひまわり」を使用する事で感染症の予防につなげることができます。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

今年6月に知人の紹介で、パラグアイの社団法人イグアス移住資料館・「匠」センター館長である園田八郎氏とであったことをきっかけに、先方から是非この画期的な介護機器をブラジルに広め、介護で困っている方々の力になりたいという要望から販路開拓に踏み切ることとなりました。

この機会にブラジルでの現状の確認と介護施設や病院施設などの様子を視察し、今後の事業参入に踏み切る計画を立てたいと思います。

中南米への進出は、こちらから輸出するのではなく、生産拠点を作れるかがポイントと考えています。

## 7. 使用言語

日本語

# ブランテックインターナショナル株式会社

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- 「HybridICE」（高濃度塩水 (23.5%) を瞬時に凍らせる技術）による製氷機、冷凍設備、物流システム

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 有力な現地パートナーの発掘

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。
- ②合弁や業務提携のパートナーを探したい。
- ③その他（ ）

## 4. 企業情報：

設立年月日	2018年4月13日
代表者名（ふりがな）	廣兼 美雄
所在地	〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-5 全国旅館会館 4F
ホームページ（URL）	<a href="https://www.blanctec.co.jp/templates/pc/japanese/index.php">https://www.blanctec.co.jp/templates/pc/japanese/index.php</a>
電話番号	+81-3-5213-4066
E-mail	nsugiura@blanctec-int.com
資本金	1億100万円
従業員数	15名
日本国内の拠点情報	販売代理店 ・株式会社ラックランド（東京） ・鴻池運輸株式会社（大阪）
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	・ブランテック・スリランカ（スリランカ） ・ブランテックヨーロッパ（サンマリノ共和国）



杉浦 伸夫  
(Nobuo Sugiura)  
取締役 (Director)



「ハイブリッドアイス」  
製氷機



「ハイブリッドアイス」  
冷凍ライン

## 5. セールスポイント：

当社の「HybridICE」は、高濃度塩水 (23.5%) を瞬時に凍らせる新たな技術であり、商業利用が難しかった  $-21.3^{\circ}\text{C}$  の雪状アイス を低コストで高速に製氷できるものです。

$-21.3^{\circ}\text{C}$  の泥状アイスに活魚を入れるだけで、瞬間的に高度な活け締めができる。従来の冷凍技術に比べ、およそ 20 倍以上のスピードで対象物から急速に熱を奪うことによって生き締め時の新鮮度が解凍時まで保持され、正に「時間が止まる」効果です。

HybridICE は、 $-1^{\circ}\text{C}$  ・塩分濃度約 1% の雪状氷も製造でき、その氷を従来の氷と入れ替えるだけで、鮮魚の高鮮度保持期間が飛躍的に伸びます。

$-1^{\circ}\text{C}$  の環境下では、菌の増殖を抑え、腐敗の原因である酵素分解を抑制し、また、体液とほぼ同等の約 1% の塩分濃度であり浸透圧差を生じず変色も少ないためである。

HybridICE は、魚介類だけでなく、牛肉、豚肉、鶏肉にも同様の驚くべき効果あり。

また、HybridICE は低温物流用の蓄冷剤の冷凍にも活用でき、小さな設備で大量の蓄冷剤を急速冷凍することが可能である。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

中南米に関しては、対応人員の関係で現状手を付けられていませんが、同地は漁業、畜産が盛んであるため、当社の「ハイブリッドアイス」の社会実装の意義は非常に大きいと考えています。

今後優良なパートナーを見つけて事業展開を進めて行く計画です。

## 7. 使用言語：

日本語

# 株式会社 京都科学



Japan International Cooperation Agency

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- 医学・医療教育用教材の開発・製造・販売

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 中南米の製品販売、マーケティング、メンテナンスサービスのできるパートナーの発掘

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。○
- ②合併や業務提携のパートナーを探したい。将来的に○
- ③その他（ ）

## 4. 企業情報：

設立年月日	昭和 23 年 6 月 8 日
代表者名（ふりがな）	片山 保（かたやま たもつ）
所在地	〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町 15 番地
ホームページ（URL）	www.kyotokagaku.com
電話番号	+81-75-605-2510
E-mail	rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp
資本金	50,000,000 円
従業員数	120 名
日本国内の拠点情報	東京支店、文京区本郷 3 丁目 26-6 仙台営業所 仙台市青葉区本町 3 丁目 4-18 名古屋事務所 名古屋市西区名駅 3 丁目 9-37
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	Kyoto Kagaku America Inc Torrance CA Hong Kong Rep Office Island East, Hong Kong European Rep. Office, Frankfurt Germany



Joji Araki  
Senior Manager



心臓病患者シミュレーター  
イチローⅡ



CT 撮影用全身ファントム  
PBU-60

## 5. セールスポイント：

弊社は戦前の島津製作所の標本部を継承していきまして、戦前より理科教材の人体模型、標本類を製造販売してまいりました。昭和 23 年の設立後も理科教材中心に製品を発展させてまいり、現在、医学教育、看護教育、そして放射線技師などの医療従事者用教材を総合的に製造・販売しており、世界的に見ても弊社が唯一の企業であると自負しております。また、製品開発も世界の専門家とコラボし、最新の教育手法を取り入れは製品を輩出しています。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

現在、ブラジル、チリ、コロンビアなどに販売店持っていますが、十分機能しているとは思えない状況です。また、エクアドルにおける SDGs の事業化計画を採択していただき、今年末から本格的に展開していく予定となっております。弊社ではエクアドルの事業を起爆剤として、他の南米重点国に拠点を作り、販売サービス網を構築していく計画です。将来的には製品のマーケティングやカスタマイズも現地で行えるような体制を目指しています。

## 7. 使用言語：

日本語、英語

# 株式会社 環境ダイゼン



Japan International Cooperation Agency

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- 牛の尿を独自技術で分解し、消臭剤・土壌改良材・水質改善剤を安定的に製造する。

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 日系企業との人脈をつくり、酪農の現状及び農業の現状を把握したい。

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。
- ②合併や業務提携のパートナーを探したい。

## 4. 企業情報：

設立年月日	平成18年2月9日
代表者名（ふりがな）	窪之内 誠
所在地	〒099-2103 北海道北見市端野町三区 438-7
ホームページ（URL）	<a href="http://kankyo-daizen.jp">http://kankyo-daizen.jp</a>
電話番号	+81-0157-67-6788
E-mail	m.kubonouchi@kankyo-daizen.jp
資本金	10,000,000 円
従業員数	18 名
日本国内の拠点情報	北海道北見市
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	なし



Kubonouchi Makoto  
President



「液体たい肥 土いきかえる」  
(土壌改良材)

## 5. セールスポイント：

当社は、牛の尿を原料とし、消臭剤、土壌改良材等を製造しています。この製造は当社独自の技術にて行われておりません。特徴として、製造プラントの建築コスト及びランニングコストは極めて低く、当社が技術を提供することにより、各酪農家での製造も可能となっております。また製造する事で新たに人的コストが増加する事ありません。こうして出来上がった液体は、土壌改良効果の他に、植物成長促進効果を含んでいる事が特徴的です。当社はこのシステムをアップサイクル型循環システムと呼んでおります。近年ではSDGsの考え方に代表される持続可能な社会を目指すべく、当社は十数年にわたり技術を磨いてきました。また当該植物成長促進効果については、熱に安定でありオートクレーブ処理後も効果に変化はなく、無機栄養(肥料)との併用により効果が増大する事がわかっております。これは既存の堆肥と一線を画する技術であることが判明しております。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

現在日本においては、酪農家から牛の尿を購入し地域経済を循環させるだけでなく、出来上がった製品の消費者も環境危機の解決へ加わる事になり、善の循環が起こる、という循環が行われております。最終製品は百貨店を始め、雑貨店やホームセンター、農家等に販売されております。また近隣アジアへの輸出も行っております。中南米では、農家1ユニットあたりの規模が大きいことから地産地消型モデルを考えております。牛の尿を当社技術で分解し、出来上がった植物成長促進剤を含む液体を農地還元することにより、牧草地及び農地にて減肥料・減農薬をすることで、環境に配慮するだけでなく、多大な経済メリット出すプランとなります。当該技術は現在特許出願中(得願 2019-03839)であり、製造技術から消費(農地還元)までのモデルをパッケージ化して海外展開できるように、顧問 弁護士内田・鮫島法律事務所と協議もしております。

## 7. 使用言語：日本語

# ジージーピー株式会社

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- プロバイオティクス混合飼糧 CRONOBE（クロノープ）
- 事業開発コンサルティング

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 現地の小規模生産者（原住民）の実態
- 現地日系農業生産者の実態

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。
- ②合弁や業務提携のパートナーを探したい。

## 4. 企業情報：

設立年月日	2015年3月6日
代表者名（ふりがな）	藤崎 泰造（ふじさき たいぞう）
所在地	〒565-0852 大阪府吹田市千里山竹園1丁目22番8-409号
ホームページ（URL）	<a href="https://ggplanet.co.jp">https://ggplanet.co.jp</a>
	+816-6389-0025
E-mail	Taizou.fujisaki@ggplanet.co.jp
資本金	500万円
従業員数	4名
日本国内の拠点情報	（本社）  大阪府吹田市千里山竹園1-22-8-409
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	有限会社オйкаワデニム



TAIZO FUJISAKI  
Chief Executive Officer

## 5. セールスポイント：

弊社は Social Marketing Office GGP と称し地域経済の牽引役となりうる新規事業開発のコンサルティングを行うことを使命と考え設立しました。代表者の25年間に及ぶ経営コンサルタントとして得た知見と、弊社技術顧問である帯広畜産大学名誉教授農学博士中野益男先生によるプロバイオティクスをはじめとする様々な化学技術を駆使して、対象地域社会にあるべき新規事業を考案し現地の既存企業等に事業開発の支援を行っています。土づくりからモノづくりそして販路開拓から販売促進まで行えることが弊社の強みです。また弊社プロバイオティクス混合飼糧を用いて行う畜産を核にした循環型自然農法は、化学肥料や農薬を大幅に削減した生産を可能にしますので、途上国の小規模生産者の自立に有効であるはずで、生産物はオーガニック製品として加工販売されることで一層地域に付加価値を生むはずで、

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

現地の生産者生産団体に対し、弊社プロバイオティクス製品および活用技術支援を行うとともに、日本国内の高度な加工技術を有する企業と連携したモノづくりを創出。販路は日本に限定せず製品により適宜選択し開拓します。可能性は衣食住関連多岐に及びます。現時点で構想しているのはアルパカ等の獣毛及び畜産を核にした循環型農業による綿花生産、それらを原料としたデニム生地及びジーパンの製造販売です。酪農養鶏アルパカ等で弊社プロバイオティクスを活用し、ローコストかつ健康な畜産を行うと同時にその排泄物を有効な堆肥として活用し綿花栽培を行い、最終製品であるジーパンに加工販売までを一貫して行うことで、適正な対価を生産者及び現地協力企業に継続的に支払うことが可能になるはずで、

## 7. 使用言語：

日本語



# 株式会社 Idrasys (アイドラシス)



Japan International Cooperation Agency

## 1. 主力製品・技術・サービス:

- AI (画像や音声認識、自然言語処理、数値回帰等) を活用したサービスの企画提案 (コンサルティング)、開発、販売

## 2. 調査にあたっての関心事項:

- 訪問先のニーズの程度 (市場性) や AI の普及状況 (競争の程度)
- 訪問先での通信・インフラ環境 (事業化の可能性)

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。
- ②合弁や業務提携のパートナーを探したい。

## 4. 企業情報

設立年月日	2018年1月11日
代表者名 (ふりがな)	長谷川 大幾 (はせがわ たいき)
所在地	〒105-0004 東京都港区新橋 4-1-1 新虎通り CORE
ホームページ (URL)	<a href="https://idrasys.co.jp">https://idrasys.co.jp</a>
電話番号	+81-3-4550-6239
E-mail	<a href="mailto:takeshi.matsunaga@idrasys.co.jp">takeshi.matsunaga@idrasys.co.jp</a>
資本金	1億1654万2千円
従業員数	9名 (2019年9月時点)
日本国内の拠点情報	東京
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	台湾 (JV パートナーの本拠地)



Takeshi Matsunaga  
Senior Producer

自然言語処理サービス

Smart  
Robot

機械学習サービス



MAGELLAN BLOCKS

## 5. セールスポイント:

弊社は、プロフェッショナル (士師業やクリエイター) の紹介派遣を行っている C&R 社 (日本) と、自然言語処理を中心に国内外で実績がある Intumit (台湾) との合弁会社として、HR 分野を中心に幅広い分野で AI 事業を展開しております。自社技術・サービスにこだわることなく、AI 分野でユニークな技術を持つ企業との協業を積極的に進めており、顧客のニーズに対して、最適な技術・サービスを組み合わせた提案を得意としております。少数ではありますが、社員のバックグラウンドは、メーカー出身で技術とマーケティングの知見を持ち合わせた者が多く、顧客の現状と課題を把握した上での、最適なサービスの提案を心がけております。

親会社の C&R 社は川崎市と共同で、中小企業の技術・サービスを活用したイノベーションの創出を推進しており、日本の尖った中小企業の技術・サービスを組み合わせたご提案も可能です。

## 6. 中南米へのビジネスプラン:

「スマートフードチェーン/スマート農業構築」に向けた以下、施策の推進

- ①日本の自動運転分野で活用されている 高度な画像認識技術 を活用した、農機の自動走行 (自動収穫)
  - ② ドローンと画像認識技術 を活用した、農薬や肥料の無人散布 (病虫害防除)
  - ③ 数値回帰・分類サービス (Magellan Blocks) を活用した、市場動向や需要の AI 予測
  - ④川崎を中心に活躍されている企業の 水耕栽培技術 を活用した、高付加価値野菜・果物の生産の効率化
  - ⑤大阪を中心に活躍されている企業の スクリーン印刷技術 を活用した、スマート農場施設の開発
  - ⑥画像認識技術を活用した、畜産分野での、牛豚の健康管理や繁殖管理
- に向けた現地顧客への実証実験の提案、現地パートナーとのアライアンス推進 (JV 含む)、本サービスの展開

## 7. 使用言語: 日本語、英語

# 株式会社 MICOTO テクノロジー



Japan International Cooperation Agency

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- ・ 医療用シミュレーションロボット開発製造
- ・ 医療用ロボット受託開発

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- ・ ブラジルを中心とした中南米諸国における消化器内視鏡マーケット及び医療トレーニング現場の現状  
なお、2020年3月に、ブラジルにおいて国際内視鏡学会 ENDO 2020 (2nd World Congress of GI Endoscopy) が開催されます。
- ・ 中南米における医療現場での問題点
- ・ 現地医療機器サプライヤー動向

## 3. 調査の目的

- ① 製品を輸出入したい。
- ② 合併や業務提携のパートナーを探したい。
- ③ その他 ( )

## 4. 企業情報：

設立年月日	2014年 4月 8日
代表者名(ふりがな)	木村 嘉宏(きむらよしひろ)
所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎 2319-3
ホームページ(URL)	<a href="http://www.micotech.jp/">http://www.micotech.jp/</a>
電話番号	+81-859-30-4275
E-mail	Takeshi.tanaka@micotech.jp
資本金	145,000,000円
従業員数	9名
日本国内の拠点情報	鳥取県米子市旗ヶ崎 2319-3(本社)
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	Beijing Kairan Technology Co., Ltd



TAKESHI TANAKA  
Director



## 5. セールスポイント：

鳥取大学医学部との連携のもと、創造的・革新的な次世代型ロボットベンチャー企業で、「とっとり発医療機器開発支援事業」の助成を受け、鳥取県産業技術センターと技術提携をし、産学官連携で製品開発を行っています。既存のマネキン型シミュレーターとは違い、人に近い感触、感覚、反応をするシミュレーターでトレーニングを重ねることで、医療技術の向上や安全な医療の提供が可能となります。設計開発・製造面で3Dプリンタ等の最新技術を導入し、次世代医療用ロボット等の研究・開発の為に、AIやIoT技術を取り込んでいます。弊社シミュレーションロボットを医療機関に使って頂きながら、ビッグデータを収集し、AIテクノロジーを用いてナビゲーションガイドと評価機能を付与し、自主学習を可能にする内視鏡用医療教育シミュレーターロボットの開発に取り組んでおります。消化器内視鏡検査領域のみならず、今後他の領域のプロジェクトも進めていきます。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

- ・ ボリビアの医療機関より、弊社製品の引き合いあり。
- ・ チリ サンチャゴ大学医学部からの引き合いあり。
- ・ 2020年3月に、ブラジルにおいて第2回世界内視鏡会議(2nd World Congress of Endoscopy)が開催され、それを機会にブラジル等中南米諸国の医学部大学、医療機関に対して、弊社開発のシミュレーションロボットが臨床研修の習熟度アップに貢献できる事を訴求していきたい。その場合、内視鏡メーカーや現地医療機器販売商社との連携が考えられる。また、内視鏡会議には、世界中からキーオピニオンリーダーの内視鏡医師の参加が見込まれ、彼ら権威のある医師に対しデモ活動を通じて、内視鏡教育の現場で使用頂き、その教育効果に関する情報を医療業界紙や学会誌に掲載され、その効用が広く広まることが見込まれる。

## 7. 使用言語：

日本語、英語

# 株式会社 鈴木製館所



Japan International Cooperation Agency

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- 生館・煉館等の製造、企画立案

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 海外での和菓子文化や現状の現地工場製造技術など

## 3. 調査の目的（①～③の中から選択してください。）

- ①製品を輸出入したい。

## 4. 企業情報：

設立年月日	昭和26年12月29日
代表者名（ふりがな）	佐野 栄三
所在地	〒254-0051 神奈川県平塚市豊原町19-14
ホームページ（URL）	<a href="http://suzukiseian.d.dooo.jp/">http://suzukiseian.d.dooo.jp/</a>
電話番号	+81-463-31-0051
E-mail	Su-suzuan@nifty.com
資本金	1,000万円
従業員数	11名
日本国内の拠点情報	
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	



Masatoshi Sano  
Senior Managing Director



煉館 湘南の夢®

## 5. セールスポイント：

弊社では、戦後間もない創業からこれまで、日々地域の皆様の元へ館(あんこ)の製造を主として、長く商売をさせていただいております。主力商品としては、業務用・小売用の生館(あんこの原料)と煉館(原料に加糖して煉ったもの)などがあります。それらは、粒・こし・白・特注館など多岐に渡る品種がございます。オーソドックスな粒あん・こしあんは長年培った製法にて、日々時代に即した改良を加え、基本を忠実に守り製造を行っております。また地域のニーズに合わせ、お客様の個性の一助となるような特注館の開発・販売にも力を入れております。そして、地元との地域連携の一環として商業高校と連携を図り、全国の商業高校の展示会出店用の共同商品開発なども行いました。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

現在弊社では、JICA 横浜（国際協力機構 横浜センター）が行っている、日系社会研修員受入事業のひとつである「和菓子を通じた日系社会活性化コース」の視察受け入れを通じ、ブラジル、アルゼンチン、ペルーの日系人と交流した中で、日系人のみならず非日系人も和菓子に非常に高い関心を持っているが、和菓子の原料(白あんなど)が入手しづらいということを知り、ビジネスマッチングの可能性を感じております。研修員とは今も交流が続いており、今後の展開も含め話をしております。その過去2年に渡り続いているこの交流から、JICA 研修の視察の受入を通じて知り合った研修員の方と協力して、輸出入や現地での製造技術の移転、技術支援などを目的として動いております。

## 7. 使用言語：

日本語

# 甲陽興産株式会社

## 1. 主力製品・技術・サービス：

- 環境総合コンサルティング、環境マネジメント  
産業廃棄物収集運搬業、

## 2. 調査にあたっての関心事項：

- 環境問題の自立的解決に向けたソフト面での支援として、甲陽興産が行っている環境ソリューションの事業展開で何ができるのか、廃棄物処理の現場や排出事業者の廃棄物の排出状況、学校教育の現場などの調査を希望します。

## 3. 調査の目的

- ①製品を輸出入したい。
- ②合弁や業務提携のパートナーを探したい。
- ③その他（環境ソリューションのための現地調査）

## 4. 企業情報：

設立年月日	1971年1月21日
代表者名（ふりがな）	北角 治太（きたがすみ なおひろ）
所在地	〒520-3435 滋賀県甲賀市甲賀町相模 319 番地
ホームページ（URL）	http://www.koyo-eco.net/
電話番号	+81748-88-5380
E-mail	koyo@koyo-eco.net
資本金	1,000万円
従業員数	40名
日本国内の拠点情報	[本社] 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場 922 [東京支店] [札幌営業所] [那覇営業所] [KOYO Lab.] [KOYO Eco Farm]
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	P&G シンガポール支店 (PROCTER & GAMBLE INTERNATIONAL OPERATIONS SA SINGAPOREBRANCH)



辻 孝博 (TAKAHIRO TSUJI)  
経営企画室 室長  
(Chief of Management Planning Division)



甲陽興産プロデュースでP&Gのゴミゼロを実現



PCB 全数調査のビジネスモデルの構築

## 5. セールスポイント：

創業以来、産業廃棄物処理を中心に、資源の買い取りや環境関連工事など、資源循環型社会の構築に向けた様々な環境サービスを提供しています。弊社は処理施設も処分場も持たず、収集運搬のみという廃棄物処理業界の異端児的存在です。ただ廃棄物を処理するのではなく、どのように廃棄物を減らすかという観点で、大手製造メーカーを中心にお客様が抱える環境ビジョンを共有し、製造工程における廃棄物抑制やリサイクル率アップ、収集運搬の効率化、処理方法の最適化、更には従業員への環境教育まで、様々なソリューションを提案し環境をマネジメントしています。

近年では、PCB 全数調査というビジネスモデルを構築し、PCB ソリューションのトップランナーとして全国で事業展開を行っています。弊社が中心となって日本 PCB 全量廃棄促進協会を設立し、国と共に、民間企業も協力し官民一体となった PCB 廃棄物の期限内全廃を目指しています。

## 6. 中南米へのビジネスプラン：

発展途上国において経済発展することは、多くの場合環境破壊に繋がります。しかし、環境がビジネスになる、お金になる商材だという認識を持つことができれば経済と環境との共存は可能です。そのためには、教育を通じ、価値観やマインドを見い出せる環境を継続的に作り出すことが必要です。子どものうちから環境教育を行い、環境を意識した生活が当たり前になるように環境との共存の仕方を教えることが重要です。

各地域の学校で、地元企業と連携した環境教育授業を行い、環境意識の向上を図ります。また、エコツーリズムの普及や養蜂を通じた地元雇用の創出など、地元民が環境や資源の価値を再認識しながらビジネスに繋げる環境を整えます。我々は環境を活用した経済発展の仕組みづくりというソフトの面から支援し、環境を守りながら健全な地域経済の発展を促し、経済、社会及び環境という三つの側面において、バランスがとれた持続可能な街づくりを目指します。

## 7. 使用言語：日本語

# 農業生産法人 有限会社 ゆいまーる牧場



Japan International Cooperation Agency

## 1.主力製品・技術・サービス：

- 石垣牛 アグー豚 繁殖、肥育、販売・輸出入
- 飼料輸入販売・水産品輸出入 など

## 2.調査にあたっての関心事項：

- 農産品、畜産品、水産品輸出入

## 3.調査の目的：

- 製品を輸出入したい ● 合併や業務提携のパートナーを探したい
- 安定的かつ競争力のある輸出入ルートの確立

## 4.企業情報：

設立年月日	1995年6月13日
代表者名（ふりがな）	金城輝美（キンジョウテルミ）
所在地	〒904-0242 沖縄県石垣市字白保 1057
ホームページ（URL）	<a href="http://www.yuimarlfarm.com">http://www.yuimarlfarm.com</a>
電話番号	+81-98-983-7786
E-mail	yuimarlfarm@gmail.com
資本金	2800万円
従業員数	10名
日本国内の拠点情報	本社 沖縄県石垣市字白保 1057
海外の拠点情報及びパートナー企業情報	株式会社伊島 ISHIMA S.R.L.



金城 利憲（KINJO TOSHINORI）  
創業者会長（FOUNDER & CHAIRMAN）



石垣牛トップブランド 金城ビーフ

## 5.セールスポイント：

石垣島で30年以上にわたり石垣牛とアグー豚生産を行っています。2000年九州沖縄サミット晩餐会でメインディッシュ牛肉として、弊社【石垣牛金城ビーフ】が採用され供された実を持っております。現在450頭の石垣島黒毛和牛を生産しておりますが、通常の牧場では28ヶ月程度で出荷するのに対し、弊牧場は35ヶ月～40ヶ月以上の超長期飼育を行い美味な肉質の牛肉となる石垣牛を生産出荷しています。超長期飼育は牛の病気、怪我のリスクが大きく増大するため、簡単なノウハウではありません。其のため【石垣牛金城ビーフ】は【石垣牛の中のトップブランド】となっております。

## 6.中南米へのビジネスプラン：

- ① ボリビア、ブラジルの優秀牧場と業務提携し、金城ビーフの超長期肥育技術をメインとする生産ノウハウを伝授いたします。両国で黒毛和牛石垣牛を生産し日本および中国など諸外国の市場向けに輸出する計画です。
- ② 弊牧場飼料は自社牧草地で育てた青草に吟醸米、酒滓、ビール滓、サトウキビ葉ガラなどを自社配合しておりますが、今般、ボリビア農業の主要アイテムである大豆の絞滓を輸入して使用する事に致しました。今後、安定的・長期的に輸入し自社牧場で使用するほか広く国内に販売致します。
- ③ ボリビア、ブラジルの農産品、畜産品、水産品を当牧場関係グループと連携して、日本及び中国市場をメインとするアジア諸国へ安定的に輸出することを目指します。

## 7.使用言語：日本語